

Let's 居住地校交流

その3



「居住地校交流」とは、本校の児童生徒(希望者)が、自分が住んでいる地域の小・中学校に出向き、同年代の友達と一緒に学習する交流及び共同学習です。

地域での人間関係を広げ、豊かに暮らしていくことをねらいとしています。



令和4年11月
船越小学校にて

1年生の C さんが、学級活動「なかよししょうかいをしよう」の学習に参加しました。最初は緊張した様子でしたが、船越小学校の友達に校内を案内してもらったり、ゲームをしたりするなかで、たくさんの友達となかよく一緒に遊ぶことができました。



(船越小学校の先生より)

Cくんが来てくれることを児童も楽しみにしており、自分たちのやるべき活動に張り切って取り組んでいました。充実感とともに「また一緒に」「これからも…」という気持ちでいっぱいの様子でした。

(保護者の方より)

保育園の時のお友達から声をかけてもらい、嬉しく思いました。



Cさんは初めての居住地校交流ということもあり、事前に担任と地域支援部員が船越小に出向いて、**障害理解授業**を行いました。1年生のみなさんは、Cさんとの交流に期待感をもちながら、嬉しそうに話を聞いてくれました。

